

サービス管理責任者及び児童発達責任者研修

基礎研修

個別支援計画の作成①
(児童)

1

演習の内容と目的

モデル事例を活用したグループワークにより、サービス等利用計画に示される総合的な援助方針、長期目標及び短期目標を踏まえて個別支援計画の支援内容等について検討する。それに基づき支援目標、支援内容を設定し個別支援計画を作成する。

(内容)

1. 事前課題を基に、個人ワーク、グループワークにより個別支援計画を作成する上での視点を再確認する。(課題の整理表)
2. グループワークにより、モデル事例を活用した個別支援計画原案(発達支援、家族支援、地域連携)を作成する。

2

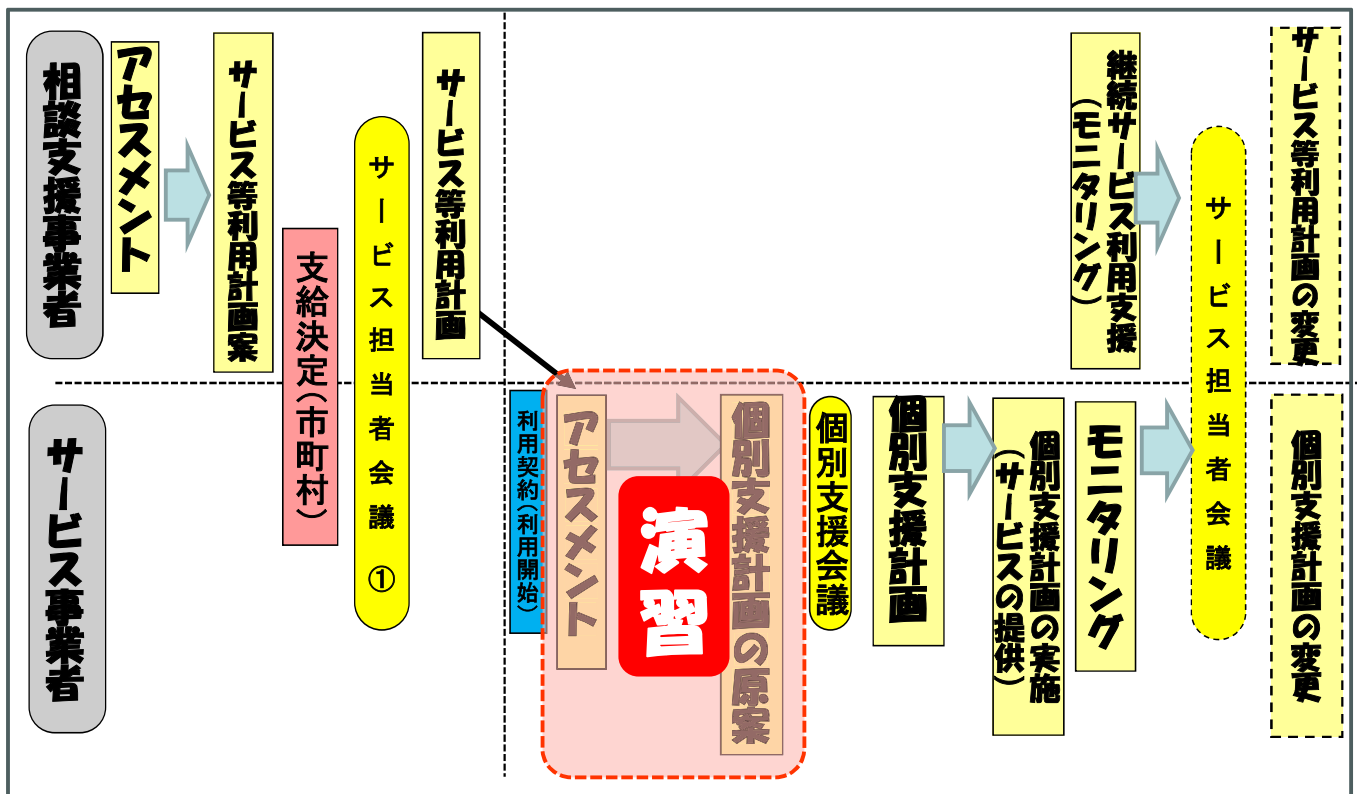
グループワークを活性化するための グランドルール

- ・テーマに意識を集中し話合いましょう。
- ・グループメンバーの一人ひとりが、自分の考えを積極的に発言しましょう。
- ・発言は短く、簡潔に。(1回の発言は1~2分)
- ・他のメンバーの話に耳を傾けましょう。
- ・他のメンバーの意見を否定せず、受止めましょう。
- ・アイデアの共通点を見つけながらつなぎ合わせましょう。



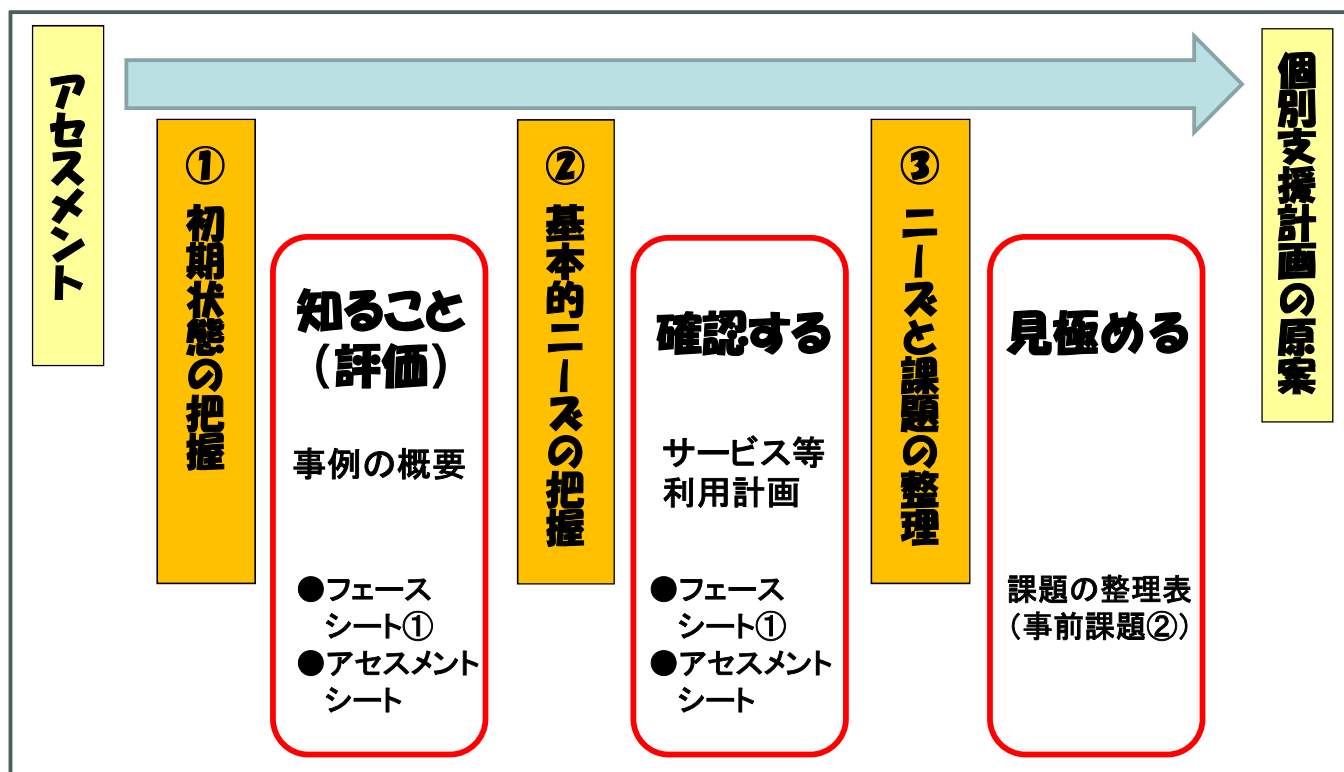
3

演習① (自己検証)



4

演習①（自己検証）



(参考資料)

児童期の個別支援計画の作成におけるアセスメント～課題の整理

ニーズ・課題の整理表作成時の留意点(例)

No	発達ニーズ・意向等の把握	初期状態の評価 (利用者の状況 ・環境の状況)	支援者の気になること ・推測できること (事例の強み・可能性)	解決すべき課題
発達支援	<p>・「誰」欲したニーズかを明確に記載し整理することがポイント。 例えば、①保護者のニーズを子どもが欲したように書かないこと、②支援者から見た発達ニーズ(感覚ニーズや運動ニーズ)もわかること</p>		<p>「支援者の知識と技量があからさまになる」 ・左記のニーズの把握、状態の評価の内容を基に論理的に記載できるか！</p>	
家族支援	<p>・まずは、聞き取り表、モニタリング情報等に記載されている状況で左記に挙げたニーズに該当する文言をそのまま抽出する。 ・すでに参考とする書類の記載者(保護者、相談支援専門員、職員等)の主観のもとに記載されている可能性が高いことに留意して読み取る</p>		<p>・「支援者が気になる」等と思う根拠は何！ ・障害特性や家族像、地域資源等の一般的なイメージから推察される「強み・可能性」の記載にとどまらないこと ・より個別性を持たせるため、具体的に記載する</p>	<p>・左記のニーズの記載内容と主語が一致するとは限らない。解決すべき課題の主語を明確化することでどこにアプローチすべきかが定まる ・ここで挙げられた記載内容が、「個別支援計画」の具体的な到達目標となりうる</p>
地域連携				

演習①（自己検証）

個人ワーク（15分）

ご自身で作成した事前課題②『課題の整理表』を基に自己検証（振り返り）を行う

- 《問1》 発達ニーズ・意向の把握
『誰』が希望したニーズかを明確に記載し整理できたか
- 《問2》 初期状態の把握（利用者の状況・環境の状況）
事例概要等に記載されている状況で、ニーズに該当する部分を抜き出せているか
- 《問3》 支援者の気になること・推測できること（事例の強み・可能性）
『支援者が気になる』等と思う根拠を記載しているか
より具体的に記載されているか
- 《問4》 解決すべき課題
解決すべき課題の主語は明確にし、どこにアプローチすべきか定まっているか

7

演習①（自己検証）

《問5》グループワーク（20分） アイスブレイク

- 自己紹介（事業所名・お名前）
- 問1～問4を行い、気づいたこと、感想についてグループで発表

MEMO



8

個人ワーク(15分)

<p>問1 発達ニーズ・意向の確認</p> <p>『誰』が希望したニーズかを明確に記載し整理できたか</p> <p>できている ・ できていない</p> <p>(感想)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 60px; width: 100%;"></div>	<p>問2 初期状態の把握 (利用者の状況・環境の状況)</p> <p>事例概要等に記載されている状況で、ニーズに該当する部分を抜き出しているか</p> <p>できている ・ できていない</p> <p>(感想)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 60px; width: 100%;"></div>
<p>問3 支援者の気になること・推測できること (事例の強み・可能性)</p> <p>『支援者が気になる』等と思う根拠を記載しているかより具体的に記載されているか</p> <p>できている ・ できていない</p> <p>(感想)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 60px; width: 100%;"></div>	<p>問4 解決すべき課題</p> <p>解決すべき課題の主語は明確にしどこにアプローチすべきか定まっているか</p> <p>できている ・ できていない</p> <p>(感想)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 60px; width: 100%;"></div>

演習② (個別支援計画作成)

●課題の整理表をもとに個別支援計画原案を作成

No.	発達ニーズ・意向等の把握	初期状態の把握 (利用者の状況・環境の状況)	支援者の気になること・推測できること (事例の強み・可能性)	解決すべき課題

The diagram shows a blue arrow pointing from the '解決すべき課題' column of the '課題の整理表' to the '課題' column of the '個別支援計画書'.

氏名	性別	生年月日 (7桁・置数なし)	生後日数 (10桁・00000000)	障害種別 (障害種別コード)	障害程度 (障害程度)	備考

演習②（個別支援計画作成）

個別支援計画原案作成 グループワーク30分

●個別支援計画原案作成の留意点

- ◎わかりやすく、具体的な支援内容にする
- ◎手に取る誰もが支援のイメージが
持てるようにする

11

明日からの演習準備

水道橋久さんは
「放課後等デイサービスすらい」を
利用し、その後どのように成長した
のでしょうか…



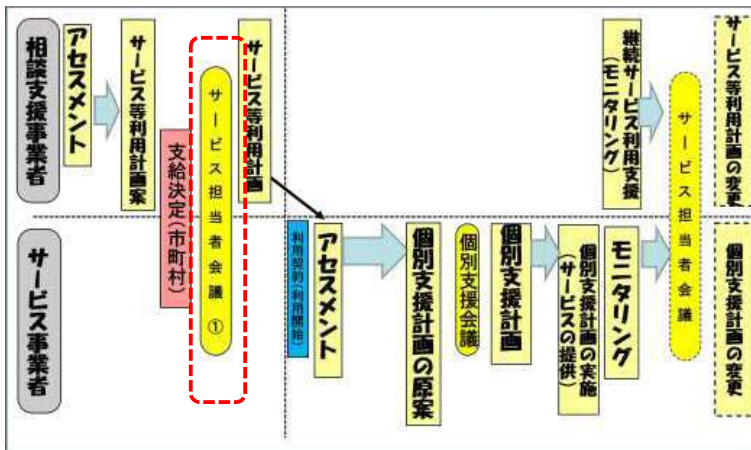
12

水道橋久さんのその後…⑤

六本木さんは久さんの希望を受け、福祉サービス利用に向けた準備を行い、サービス等利用計画案を確認してもらうため、相談支援事業所が久さん、お父さん、利用予定のグループホーム、就労継続支援B型事業所とサービス担当者会議を行うことになった。

【参照資料】

- ・事例概要(青年期)
- ・事例概要(青年期アセスメント)
- ・サービス等利用計画(案)



《サービス担当者会議》

- ・水道橋久さん
- ・お父さん
- ・共同生活援助事業所
- ・就労継続支援B型事業所
- ・相談支援専門員 六本木さん

13

水道橋久さんのその後…⑥

模擬サービス担当者会議を見るポイント…

- ・相談支援専門員 六本木さんの会議の進行の仕方
- ・多くの意見が出し合えるような環境を作っているか
- ・水道橋久さん主体の話し合いができていたか



14

明日からの演習準備

**水道橋久さんは、グループホームと
就労継続支援B型事業所を
利用しながら自立に向けた
練習を開始します。**

